

ボローニャ大学への協定留学(交換留学) 月例報告書(1月分)
文化政策学部 国際文化学科 3年

【はじめに】

みなさんこんにちは！12月中旬に授業が終了したため、1月は冬休み期間でした。この期間を利用して、両親が日本から会いに来てくれました。大きなスーツケースいっぱい詰め込まれた日本食は、まさに愛情そのものだと感じました。今回のレポートでは、この冬休みに行った家族旅行の様子を記します。



たくさんのお菓子と日本食
ありがとう！！

【家族旅行！】

○ミラノ

ミラノの街はボローニャよりも寒く、霧がかっていました。初めて見る大聖堂は重厚で堂々としており、とてもかっこよかったです。内部に入るとステンドグラスがきらめき、讃美歌が流れていて、神秘的な空気が漂っていました。ミラノといえば、コトレッタ・ミラネーゼとリゾット・アツラ・ミラネーゼ！大きなコトレッタは薄くてサクサクしていて、とてもおいしかったです。リゾットもチーズが濃厚で、また食べたいと思う味でした。残念ながら、レオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晩餐』があるサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会のチケットは取れませんでした。帰国前に、ぜひもう一度ミラノを訪れて実物を見たいと思います。

○ヴェネツィア

水の都ヴェネツィア！天気が心配でしたが、晴天の中、美しい街並みを存分に楽しむことができました。念願のゴンドラにも乗り、穏やかな波に揺られながら景色を眺めていると、まるで映画の中にいるような気分になりました。サン・マルコ大聖堂にも訪れました。異国情緒あふれる外観はもちろん、内部の豪華な金の装飾は、貿易で栄えた都市の歴史を物語っているようで、とても感動しました。そして、ヴェネツィアで食べた海鮮パスタとイカ墨スパゲッティは、レシピを教えてほしいほどおいしかったです。

○ローマ

永遠の都ローマ。見るものが多すぎて、消化不良になるほどでした。私たちが訪れたのは、トレヴィの泉、バチカン博物館、そして真実の口です。

トレヴィの泉は大混雑を予想していましたが、列はそれほど長くなく、10分ほどで最前列に行くことができました。「コインを投げると願いが叶う」と言われており、私もコインを投げました！現在は有料になったようなので、無料の時期に行けて良かったです。

バチカン博物館で最も印象に残ったのは、システィーナ礼拝堂にあるミケランジェロの『最後の審判』です。撮影禁止のため写真には残せませんでした。20分ほどじっくり鑑賞し、その姿をしっかりと目に焼き付けました。天井には聖書の場面が、正面には最後の審判が描かれており、その迫力に息を呑みました。本当に人の手で描かれたのか疑うほど美しく、訪れることができ本当に良かったと思いました。

○フィレンツェ

フィレンツェは、他の街とはまた違った、穏やかで可愛らしい雰囲気があり、一度訪れただけで虜になりました。ここではウフィッツィ美術館を訪れました。この美術館には、誰もが一度は見たことのある名画が数多く所蔵されています。ボッティチェッリの『春』『ヴィーナスの誕生』、レオナルド・ダ・ヴィンチの『受胎告知』『東方三博士の礼拝』、ミケランジェロの『聖家族』など、実物を目にすることができ、とても貴重な経験となりました。

特に私は、レポートでボッティチェッリの『受胎告知』を扱ったことがあったため、本物を見た瞬間は

言葉を失うほど感動しました。筆で描いたとは思えない透明感のある布の表現や、一瞬を切り取ったような構図は、まさに圧巻でした。絶対にまた訪れたい場所です。

フィレンツェではおいしいビステッカもいただきました。3人で1.5kgを注文し、両親には多すぎると言われましたが、そんな心配は不要でした。血が滴るほど赤身で分厚いのに、とても柔らかく、あっさりしていて、ぺろっと完食しました。

母が「いい街だった。また来たい」と言ってくれるほど、フィレンツェは本当に魅力あふれる街でした。

【おわりに】

今回の家族旅行では、イタリア語が分かるのは自分だけという状況の中で、道を尋ねたり、レストランで注文したりと、緊張する場面も多くありましたが、その分、自分の成長を実感するきっかけになりました。また、これまで教科書でしか見たことのない作品を、実際に現地で見ることができた喜びを深くかみしめました。こうして今イタリアにいられること、その環境で学んでいることに、改めて感謝しています。

2月後半からまた授業が始まります。今回得た気づきと自信を糧に、留学生活後半も前向きに取り組んでいきます。

Milano



コトレッタとリゾット

Roma



トレヴィの泉



バチカ博物館



ミケランジェロの学堂

Venezia

遙かあるゴシック建築!



サン・マルコ大聖堂



真実の口
Bocca della Verità



Firenze

ルネサンスの誕生地

ボッティチェッリ作『愛胎告知』



こちらで見つめる
ボッティチェッリの
自画像...



ビステッカ